

84

六郷満山開山1300年記念事業（特別連携事業）

開催日：平成30年9月15日（土）～12月15日（土）の土・日・祝

開催場所：国東半島宇佐地域一円



●実施状況

平成30年に開山1300年を迎えた六郷満山のPRと国東半島宇佐地域への誘客を図ることを目的として、9月15日から12月25日まで、情報発信や受け入れ態勢整備、周遊観光ルート作りなどに取り組みました。国民文化祭期間中の10月6日から11月25日は、主に次の三つの催しを開催しました。

一つは「くにさき朱印めぐり」として、通常の霊場朱印めぐりに加え「鬼めぐり～鬼朱印」「不動めぐり～不動朱印」の2種類の限定朱印めぐりを開催しました。県内外、特に福岡近郊から、多くの皆さんに各寺院をご参拝いただきました。

二つは「非公開文化財特別公開」として、通常のご参拝では間近に見ることが出来ない仏像や掛軸などの仏教美術、文化財等の特別拝観を実施しました。初公開の文化財も多々展示され、中でも、10年ぶりに公開された日出町願成就寺の「秘仏本尊妙見菩薩」及び60年に1度の特別公開が行われた国東市興導寺の「秘仏本尊火燃地蔵」は、大いに注目を集めました。

三つめの「紅葉ライトアップ&特別イベント」では、LEDライトに照らされた寺社で、神楽や舞楽、和太鼓やチェロ等の演奏など各種イベントを

開催しました。各会場では、世界農業遺産の郷・国東半島で栽培された農産物を使用したおにぎりや汁物などで来場者へのおもてなしも行われました。

また、宇佐神宮では、宇佐市のリーディング事業とも連携し、期間を延長して西大門や大鳥居などの建造物や参道のライトアップを行いました。

その他にも宇佐国東半島を巡る会による「峯入りツアー」、ツーリズムおおいたほか各旅行会社の企画募集による「限定朱印めぐりバスツアー」が開催され、大分、福岡方面等から多数のツアー客が六郷満山を訪れました。

●主催者

国東半島宇佐地域・六郷満山開山1300年誘客キャンペーン実行委員会（国東市 豊後高田市 宇佐市 杵築市 日出町 姫島村 国東市観光協会 豊後高田市観光協会 宇佐市観光協会 杵築市観光協会 日出町観光協会 豊後高田市観光まちづくり株式会社 大分県観光・地域局 公益社団法人ツーリズムおおいた 一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏 宇佐国東半島を巡る会 ザ・ジャパン・トラベルカンパニー 国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会 大分県立歴史博物館 国見アートの会 くにさき企業会 大分県旅館ホテル生活衛生同業組合 大分県芸術文化スポーツ振興財団）

85

花とアートの岬づくりプロジェクト2018

開催日：平成30年11月4日(日)～25日(日)

開催場所：長崎鼻



出会いの場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

●実施状況

平成28年度から始まった花とアートの岬づくりプロジェクトの集大成として、「花とアートの岬 長崎鼻」に藤本由紀夫氏の「on the border-海を望む・海に臨む-」を設置しました。舞台となった長崎鼻は、かつては耕作放棄地でしたが、地元の人々の熱心な想いが岬一帯を「花の岬」に蘇らせ、その想いと岬の風光明媚な景観に感銘を受けたアーティストたちの作品が加わり「花とアートの岬」として成長をとげてきました。

11月4日に開催した長崎鼻アートフェスタでの作品完成披露式典では、藤本氏が「長崎鼻は海と陸の境界にあり、長崎鼻そのものが作品である。私の作品（ベンチ）に腰掛けてゆっくりとした時間を過ごしてもらいたい」と語ってくれました。

また長崎鼻アートフェスタでは、県内アーティストによるワークショップやステージパフォーマンス、市内の障がい者及び障がい者施設利用者による「障がい者アート作品展」が開催されました。天候にも恵まれ、終日多くの来場者で賑わいました。

期間中、長崎鼻に設置されているオノヨーコ氏の作品などを巡り、長崎鼻の景品があたる「長崎鼻キーワードラリー」も開催し、多くの参加者に長崎鼻のアート作品を鑑賞していただきました。

●プログラム

長崎鼻アートフェスタ 11月4日(日) 10:00～15:00

10:00 ワークショップ

10:15 似顔絵ライブ

11:00 藤本 由紀夫氏作品完成披露記念式典

12:30 平井 正也&nelcoライブ

13:00 似顔絵ライブ

14:00 baobabライブ

14:30 鹿苑 晋史×豊後みさき太鼓書道パフォーマンス

長崎鼻キーワードラリー

11月4日(日)～25日(日) 9:00～16:00

(木曜日は定休日)

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 豊後高田市 豊後高田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭豊後高田市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭豊後高田市実行委員会

開催日：平成30年10月20日(土)・21日(日)

開催場所：杵築市城下町一帯



●実施状況

県内一のお茶の生産地杵築市では、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の大分県テーマ「おおいた大茶会」を体現するため、「お茶を通してきつきに会う」をテーマに、10月20日と21日の2日間にわたり、古今東西のお茶（喫茶）に関するマーケットを中心とした「きつき大茶会」を開催しました。

国民文化祭杵築市総合開会式をこの日に合わせ、大分県無形民俗文化財「若宮楽」の演舞を手はじめに、重要伝統的建造物群保存地区である城下町の雰囲気を楽しみながら回遊できるマーケットを配置し、市内外、県外、福祉施設の工夫を凝らした出店と、県内大学生、留学生の協力により国際色あふれるプログラム構成にしました。

当日はすばらしい天気の中、子どもからお年寄りまで、障がいのある方、外国の方、いろいろな地域からご来場いただくとともに、プログラムを通じて来場者、出店者との交流が生まれました。各会場を巡ることで杵築市の魅力を多くの皆様に知っていただくことができたと感じています。

●プログラム

10月20日(土)～21日(日) 11:00～20:00

- ・茶々茶マーケット
58店舗による世界各国のお茶と喫茶に関するマーケットを開催
- ・お茶会
日本茶、紅茶、台湾茶、中国茶など5つの茶会を開催
- ・ステージライブ
地元のバンド演奏、紙芝居、スティールパン演奏、落語、学生食育パフォーマンス、のこぎり演奏、トーク、ちんどん的楽団によるステージ
- ・ワークショップ
ほうじ茶などの茶づくり体験、地元の美術作家による楽器作り、行燈製作など11のワークショップを開催
- ・ガイド
きつき子ども歴史ガイド（20日のみ）、別府大学生城下町ガイド
- ・展示
地元作家によるティーコージー、竹工芸の展示

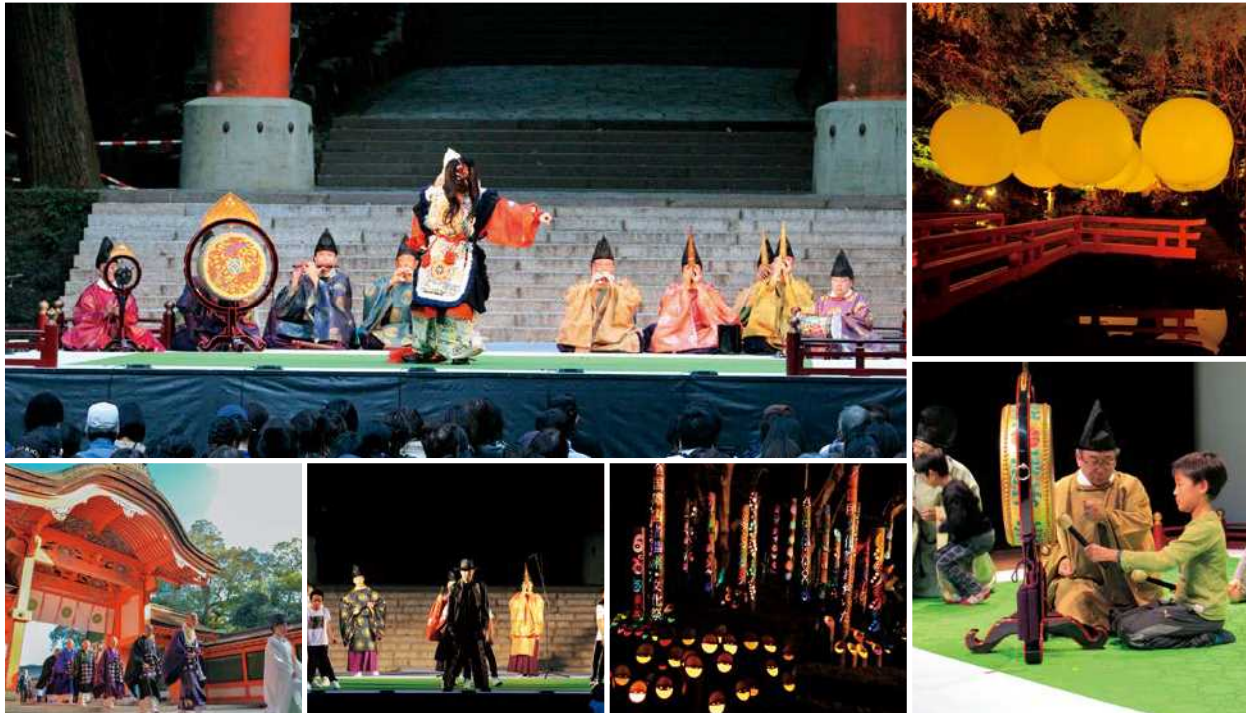
●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 杵築市 杵築市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭杵築市実行委員会（きつき大茶会事業部会）

87 神と仏の祭典

開催日：平成30年10月26日(金)～11月7日(水)

開催場所：宇佐神宮、宇佐文化会館



出会いの場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

●実施状況

宇佐神宮を中心とした六郷満山や神仏習合文化を全国へ発信するとともに、ゾーンテーマ「祈りの谷」を体現すべく、4つのイベントをリーディング事業として位置づけ実施しました。

「光のアート」では、全国八幡社の総本宮「宇佐神宮」を舞台に、世界で活躍するアート集団「チームラボ」によるデジタルアート展示に加え、子どもたちの願いごとを巻き付けた竹灯籠を市民参加で作成し、参道に並べることで、宇佐神宮全体を光で包みこみ、約45,000人の来場者で賑わいました。

六郷満山に連綿として受け継がれる「祈り」をテーマとした「祈りのおとコンサート」では、人々が祈りを捧げる時に用いる「おと」や「踊り」に着目し、雅楽グループ伶楽舎とEXILE ÜSAのダンスという異分野コラボを行いました。

また、伶楽舎によるワークショップ等を交えた「子どものための雅楽コンサート」を実施し、子どもたちに雅楽の楽しさに触れてもらいました。

「東大寺サミット」では、古くから縁のある奈良県東大寺とその建立・再建に関連のある自治体が集い交流を行うとともに、東大寺僧侶による宇佐神宮での神前読経や大仏右手のレプリカ展示を行いました。

●プログラム

- 1 光のアート
10月26日(金)～11月7日(水) 18:00～21:00
(27日(土)のみ 19:00～22:00)
- 2 祈りのおとコンサート
10月27日(土) 15:30～18:00
 - ・院内童龍太鼓
 - ・伶楽舎コンサート
 - ・EXILE ÜSA × 伶楽舎コラボパフォーマンス
- 3 東大寺サミット
10月27日(土) 11:00～15:00
 - ・実行委員会、サミット宣言
 - ・麻生神楽
 - ・「世界平和を祈り 神と仏が会おう」参進(参集殿前～祓所～上宮本殿)〈上宮本殿にて〉
 - ・宇佐神宮による祝詞奏上、東大寺による神前読経
 - ・大仏様右手のレプリカ展示
- 4 子どものための雅楽コンサート
10月28日(日) 13:00～15:00

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 宇佐市 宇佐市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭宇佐市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭宇佐市実行委員会

祈りの谷～ペトロ岐部物語～

開催日：平成30年10月13日(土)～11月11日(日)、18日(日)

開催場所：くにさき総合文化センター、国見生涯学習センター



●実施状況

平成30年11月24日に国東市の生んだ偉人、ペトロ・カスイ岐部神父が福者に列せられてから10年を迎えることを記念して、4つの事業を開催しました。

「ペトロ・カスイ岐部奇跡の生涯展」では、37年間キリシタン歴史画を発表し続けている洋画家・村田佳代子氏の作品30点に加え、平成25年に熊毛小学校の生徒が新ローマ法王「フランシスコ」の就任をお祝いして送った手紙の返礼として、ローマ教皇庁から届いた手紙等も展示しました。

「遙かなる海の讃美歌～ペトロ岐部物語～」では、青年座映画放送(株)の協力のもと、今回で3回目となる演劇公演を、県外からの観劇者にもわかりやすいよう、文化祭用に演出をブラッシュアップして実施しました。あわせて実施したパネルディスカッションでは、大道具・音響・照明・衣装が入ることで舞台にどのような変化が起こるか実演を交えながら、普段見ることのない舞台裏の世界を説明いただきました。

「日本のマルコポーロ、福者ペトロ・カスイ岐部の足跡を音楽で辿る」では、声楽家村田望氏他プロの音楽家の出演のもと、天国の大空に映る年表を頼りに語るペトロ岐部自身の回想を主として、彼の生涯

が奇跡といわれる所以を解説していただきました。また、世界史の転換期にペトロ岐部が生きたという忠実を理解していただくため、オペラからミュージカルまで、多彩な演奏のコンサートを公演しました。

「ペトロ・カスイ岐部神父列福10周年記念シンポジウム」では、NPO法人「国東半島くにもみ群(すいぐん)」と共催で、ペトロ岐部の功績に様々な手法で迫るシンポジウムを開催しました。村田佳代子氏の基調講演をはじめ、村田望氏他プロの音楽家によるミニコンサート、ローマ教皇へ手紙を送った生徒による発表など、盛りだくさんの内容でペトロ岐部を顕彰しました。

本事業を通じて、キリシタンとして信念を貫いたペトロ岐部が、勇気と実行力、そして強い責任感を持った偉人であることを改めて市内外に発信することができました。2019年はペトロ岐部が聖地エルサレムに到着して400年、2020年はローマに到着して400年になります。ペトロ岐部が世界の偉人となり聖人に挙げられるのに必要不可欠な地元の機運醸成にもつながる取組となりました。

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 国東市 国東市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭国東市実行委員会

89

姫島車えび祭

開催日：平成30年10月21日(日)

開催場所：姫島港フェリー広場



●実施状況

第18回姫島車えび祭が10月21日に姫島港フェリー広場で開催されました。

午前11時からと正午からの2回行われた姫島車えび賞味会では、「姫島車えび」をはじめとした海の幸たっぷりのお弁当2,000食が販売されました。

午前9時の販売開始時間前から、多くの皆さんが、「姫島車えび」のお弁当の食事券を買い求めるため販売所の前に列をつくり、2,000食分の食事券は約1時間半で売り切れました。

賞味会では、家族連れや旅の仲間同士など、会場を訪れた皆さんが会話を弾ませながら、「姫島車えび」がたっぷり味わえるお弁当に舌鼓を打ちました。また、村民の皆さんも食事券を買い求め、ふるさと特産の「姫島車えび」を味わっていました。

「姫島車えび賞味会」終了後の午前11時50分からと午後1時からの2回催された姫島盆踊り「キツネ踊り、アヤ踊り」の鑑賞会では、「姫島車えび」をはじめとする海の幸でお腹を満たした皆さんが、盆踊り会場に集まり、何重にも広がる輪をつくりました。

また、大型の渡り蝶「アサギマダラ」を鑑賞する皆さんのため、フェリー広場と休息地を往復する無料バスが運行されました。現地では「アサギ

マダラを守る会」の会員さんが説明を行い、訪れた皆さんが渡り蝶「アサギマダラ」の優雅な舞いを見つめ、笑顔で姫島の秋を感じていました。おおいた姫島ジオパークのジオサイトや姫島七不思議を周遊するガイド付きバスの運行では、姫島を訪れた皆さんが島内を移動しながら、観光スポットやジオサイト等の風景を楽しんでいました。

今回は文化祭特別企画として、姫島今昔パネルも展示し、県内外への情報発信の大変良い機会となりました。

●プログラム

- 1 「姫島車えび」をふんだんに使ったお弁当の賞味会
- 2 姫島盆踊り「キツネ踊り、アヤ踊り」の鑑賞会
- 3 大型の渡り蝶「アサギマダラ」鑑賞バスの運行
- 4 おおいた姫島ジオパークのジオサイトや姫島七不思議を周遊するガイド付きバスの運行
- 5 姫島港船客待合所にて姫島今昔パネルの展示

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 姫島村 姫島村教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 「第33回国民文化祭おおいた2018」、「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」 姫島村実行委員会 大分県漁業協同組合姫島支店

90

日出町こども文化の祭典

開催日：平成30年11月8日(木)～25日(日)

開催場所：交流ひろばHiCaLi、町立図書館、日出町中央公民館、暘谷駅前広場周辺



こどもミュージカル



Mira☆Eve! (ミラ・イベ)



●実施状況

「日出町こども文化の祭典」では、子どもを主役に、大人もお年寄りも、また障がいのある方もない方も、誰もが楽しめる祭典を目指し、4つの事業を実施しました。

「ひじアートミュージアム」では、例年開催している「ときめき作品展」での障がい者作品の展示に加え、「おおいた大茶会盛り上げ隊」日出町代表で、切り絵作家の中島眞一氏が所属する障がい者アート団体「元気のでるアート！」に作品提供を依頼し、これまでにない規模の障がい者アート展を実施しました。あわせて中島氏と現代美術家Kanaのコラボ作品を展示するなど、障がい者アートの枠にとらわれない楽しい企画も展開しました。また期間中は、缶バッジ作りや紙粘土での王冠作りのワークショップ、中島氏の切り絵の実演など、参加者が作品や作家と触れ合える機会を設けました。会場を図書館とし、普段アートに触れる機会の少ない層にも気軽にお越しただけだったこともあり、期間中約7,000人の来場者を迎えることができました。

「こどもミュージカル～サンタ会議」では、日出町にあるテーマパーク「ハーモニーランド」で振付を指導し、現在は町内でダンススクールを主宰

している佐藤三成子氏に総合ディレクションを依頼しました。公募で集まった26名の小中学生はほとんどが歌やダンスの初心者ばかりで、当初は消極的な姿勢が目立ちましたが、約10カ月間猛練習に励む中でどんどん積極的になり、周囲への気配りや向上心も芽生え、みるみる成長していきました。日出支援学校では小中学部の生徒達が早期に合奏の練習を開始。両者が共演できる場面を演出しようと、合同練習の時間をなんとか作り、劇の最後に合唱を取り入れました。出演する子どもたちはもとより、スタッフも当日の舞台が迎えられるのか不安に駆られましたが、両者とも当日は素晴らしい成果を披露し、満席の会場には感動の渦が巻き起こりました。

「これからの未来をつくる皆が楽しめるイベント」をコンセプトとした「Mira☆Eve! (ミラ・イベ)」では、JR暘谷駅前広場と町道の一部歩行者天国にし、県内外から集まった21店舗の出店者によるマルシェや、地元専門店のコーヒーテイastingイベント、バルーンアート、ステージイベントなどを開催しました。ステージでは「エビカニクス」で子どもたちに人気のケロポンズが登場、今回のために制作した楽曲「ここは日出町」が披露されました。またハーモニーランドからやって来た、ハローキティのグリーティングも行



ひじアートミュージアム 3244



ひるなかモンブランコンサート



われました。当日は天候にも恵まれ、親子連れを中心に約4,000人が来場。初めての試みでしたが、子どもからお年寄りまで、大いに楽しんでいただいていた様子でした。

「ひるなかモンブランコンサート」では、地元の中学・高校3校の吹奏楽部と「ピタゴラススイッチ」で有名な「栗コーダーカルテット」が出演しました。第一部ではそれぞれの学校が日頃の練習の成果を発揮し、会場を湧かせました。第二部では栗コーダーカルテットがテレビでおなじみの曲を披露した後、日出中学校との共演で、今回のコンサートのために制作した楽曲を演奏し、この日一番の拍手が送られました。栗コーダーカルテットは吹奏楽曲の制作や中学生との共演は初めてのことでしたが、「とてもいい刺激を受け、やりがいがあった」との嬉しい言葉をいただきました。関わった方々に良い経験と影響を与え、観客には大きな感動を与えた素晴らしいコンサートとなりました。

●プログラム

- 1 11月8日(木)～25日(日)
ひじアートミュージアム
(交流ひろばHiCaLi、町立図書館)
- 2 11月17日(土)
こどもミュージカル～サンタ会議
(日出町中央公民館)
- 3 11月17日(土)
Mira☆Eve!(ミラ・イベ)
(陽谷駅前広場周辺)
- 4 11月18日(日)
ひるなかモンブランコンサート
(日出町中央公民館)

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 日出町 日出町教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭日出町実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

91

大分方言まるだし弁論大会

開催日：平成30年10月21日(日)

開催場所：豊後高田市中央公民館



●実施状況

「なんでんかんでん言うちみい」を合言葉に、大分方言を使い日頃の思いの丈を熱弁する「大分方言まるだし弁論大会」を開催しました。今年で34回目を迎えた本大会には、市内外から12人の弁士が出演し、5分の制限時間内に日頃の思いを方言で巧みに発表しました。

今回は国民文化祭の特別ゲストとして、元かぐや姫などで活躍されていたメンバーで構成される「ブラザーズ」のコンサートと活弁士の麻生子八咫氏が無声映画に大分弁の語りをあわせて会場を盛り上げました。

最優秀賞に選ばれた市内の小学校教諭は、学校での英語教育のエピソードをおもしろおかしく語り、「子どもたちは未来にむかって頑張っているの、自分もしらしけん頑張る」と、大分弁で決意表明しました。

大会を通じて、方言という「ことばの文化」に触れることにより、ことばの豊かさを知ることができました。

●プログラム

- 11:30 開場
- 12:00 ブラザーズ公演
- 13:00 弁論大会開会
活弁士 麻生 子八咫公演
講評・審査発表、表彰、閉会

●表彰

- ・大分県知事賞・大分方言まるだし弁論大会実行委員会会長賞（最優秀賞）
- ・第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会会長賞（優秀賞）
- ・豊後高田市長賞（優秀賞）
- ・第33回国民文化祭豊後高田市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭豊後高田市実行委員会会長賞（優秀賞）

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 豊後高田市 豊後高田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭豊後高田市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭豊後高田市実行委員会 大分方言まるだし弁論大会実行委員会

92

昭和の町音楽祭

開催日：平成30年10月28日(日)

開催場所：豊後高田中央公園



●実施状況

昭和30年代の活気ある街並みを再現した商店街「昭和の町」の中心部にある中央公園にて、昭和にちなんだ懐かしい「昭和の町音楽祭」を開催しました。

このイベントは、音楽の力で地域の活性化と子どもたちの健全育成を図ることを目的に、地元の市民団体「BUNGOTAKADA SOUNDS」が中心となり実施しているイベントで、今回で12回目の開催となりました。

この日は豊後高田少年少女合唱団、高田高校吹奏楽部のステージを皮切りに、市内外で活躍するアーティスト7組が、「昭和の町」の雰囲気合った、オールディーズをはじめとした昔なつかしい演奏を披露しました。

会場には、地元の人気店やパン工場などによる飲食ブースの出店もありました。昭和の町では地元グルメや懐かしの味の食べ歩きをしながら散策をする多くの観客で賑わいました。

また今回は、国民文化祭のスペシャルゲストとして、お笑いコンビの「どぶろっく」のライブも行われ、会場は大いに盛り上がりました。

●プログラム

- 10：00 豊後高田少年少女合唱団
- 10：45 高田高校吹奏楽部
- 11：35 70'S
- 12：20 ピーチヒップボーイズ
- 13：05 アユミーゴ
- 13：45 ヒットパレーダース
- 15：00 ザ・トリビューツ
- 15：45 中島 晴香
- 16：30 どぶろっく（特別ゲスト）

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 豊後高田市 豊後高田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭豊後高田市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭豊後高田市実行委員会 BUNGOTAKADA SOUNDS

93

豊後高田市民文化祭

開催日：平成30年11月1日(木)～3日(土・祝)

開催場所：豊後高田中央公民館



●実施状況

昭和26年に設立した豊後高田市文化協会の所属団体による生涯学習作品展、芸能発表大会を開催しました。

生涯学習作品展では、俳句や書道、写真絵手紙など27教室の約1,000点の作品を展示し、芸能発表大会では、29の演目を披露しました。

また、異文化との交流を図るため国民文化祭の特別ゲストとして招聘した琉球伝統歌舞集団「琉神」による公演が行われ、会場は多くの観客で賑わい、盛会の中、幕を閉じました。

●プログラム

生涯学習作品展 11月1日(木)～3日(土・祝)
10:00～17:00
(11月1日は13:00～17:00)

芸能発表大会 11月3日(土・祝) 10:00～13:30
「琉神」公演 11月3日(土・祝) 14:00～15:30

●生涯学習作品展出品団体

高田・フォトグループ/華道池坊瑞松会・華道小原流/初級書道教室/高田番傘川柳会/俳句・豊後

高田俳句連合桂声/着付教室/刺子教室/表装教室/絵手紙教室秋桜/絵手紙教室鳩の会/絵手紙教室作夢墨画会/真玉教室 陶芸・布絵本・粘土工芸

●芸能発表大会出演団体

琴城流 桂川会/淡窓伝光霊流 豊後高田詩道会/花柳流 扇柳会/藤本流 藤本秀唱次社中/太極拳 はびねす/高田クラシックバレエ/中之島流 夢/ハノハノフラ大分/花柳流 いづみ会/中央公民館民謡教室/歌謡教室 白ゆり会/小屋岡教室 フラダンス/装道礼法きもの学院 高田教室/高田太極拳ふれんず/和心/三喜流 みどり会/中山流 あやめ会/中央公民館民謡教室/花柳流 扇柳会/親風流 高田吟士会/花柳流公民館舞踊教室/花柳流 桜美鶴会/小天真道流 剣舞道/高田ヤンソの会/市民合唱団 そよ風/琉球伝統歌舞集団「琉神」(特別ゲスト)

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 豊後高田市 豊後高田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭豊後高田市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭豊後高田市実行委員会 豊後高田市文化協会

94

障がい者芸術・文化祭記念講演会

開催日：平成30年11月11日(日)

開催場所：豊後高田市中心公民館



●実施状況

NHK大河ドラマ「平清盛」の題字を書かれたことで知られるダウン症の書家・金澤翔子さんによる席上揮毫（書道パフォーマンス）と、母・泰子さんによる講演会を開催しました。満席となった会場が静まり返る中、翔子さんが力強いパフォーマンスを披露。全ての人の幸せを願う気持ちがこもった「共に生きる」という作品が完成しました。続いて行われた泰子さんによる講演会では、「天使がこの世に降り立てば」と題して、42歳の時に授かった翔子さんがダウン症であると宣告されてから、現在に至るまでの波乱万丈な日々や翔子さんの成長の様子、親子の絆についてお話しいただきました。講演後には、翔子さんがマイケルジャクソンの曲に合わせたダンスパフォーマンスを披露。今回の作品「共に生きる」は市に寄贈され、最後に市長から翔子さんへ感謝状が贈られました。

当日、同館においては、講演会にあわせ「ふれあいコンサート」「障がい者アート作品展」も開催。「ふれあいコンサート」では、市内の障がいのある方によるピアノ演奏、また障がいのある方とない方の共演による、ドラム、ギター、フルート、リコーダー、ハーモニカを使っての歌や合奏が行われま

した。演奏中、来場者も一緒に手拍子でリズムを取るなど会場全体がとても楽しい雰囲気に包まれました。

「障がい者アート作品展」では、市内の障がい者及び障がい者施設利用者によるアート作品を展示。絵画、織物、写真、書道、造形など、様々な種類の素晴らしい作品が展示されました。

なお、作品は市内4箇所で開催し、多くの方に御覧いただきました。

●プログラム

- 12：30 開場
- 13：00 ふれあいコンサート
- 14：00 金澤 翔子席上揮毫
金澤 泰子講演会
- 15：30 終了

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 豊後高田市 豊後高田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭豊後高田市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭豊後高田市実行委員会

95 全日本健康マージャン交流大会

開催日：平成30年11月18日(日)

開催場所：豊後高田市役所高田庁舎



●実施状況

子どもから高齢者、障がいのある方まで分け隔てなく全国から愛好者が集い、健康マージャンを通じて、新たな出会いと交流の場とするとともに、健康マージャンの魅力を全国に発信することを目的に、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭として初めて「全日本健康マージャン交流大会」を開催しました。

当日の参加者は、北は北海道から南は鹿児島までのプロ選手8人を含む200人。18歳から最高齢の87歳までが一堂に会し、1回戦ごとにメンバーを入れ替えながら、全4回戦の総得点で勝敗を競いました。宮城県から参加した方は「マージャンを通じて、いろんな大会に出場することが人生の生きがいです。」と笑顔で話してくれました。

そのほか、プロ雀士との交流イベントとして、サイン会やトークショー、ふれあい対局なども開催され、多くのファンで賑わいました。

●プログラム

- 9：30 開会式
- 10：10 第1回戦～第4回戦
- 15：50 アトラクション
- 16：10 表彰式

●表彰

- 優勝 文部科学大臣賞
- 準優勝 国民文化祭実行委員会会長賞
- 第3位 大分県知事賞
- 第4位 豊後高田市長賞
- 第5位 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会会長賞
- 第6位 大分県議会議長賞
- 第7位 大分県教育委員会教育長賞
- 第8位 豊後高田市教育委員会教育長賞
- 最高齢者賞
- 最年少者賞

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 豊後高田市 豊後高田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭豊後高田市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭豊後高田市実行委員会 一般社団法人全国麻雀段位審査会 一般社団法人日本健康麻将協会 日本麻雀連盟

96

豊後高田伝統芸能フェスティバル

開催日：平成30年11月18日(日)

開催場所：玉津プラチナ通り



●実施状況

千年の時を超えて受け継がれてきた美しい自然、六郷満山文化の歴史が織りなす豊かな風土、古い街並みや伝統行事など、古き良き時代を知り、触れることができるまち、豊後高田。この地で育まれてきた伝統芸能の保存・継承と、魅力発信を目的として、「豊後高田市伝統芸能フェスティバル」を開催しました。

当日は300年の伝統を誇る県選択無形民俗文化財の「草地おどり」をはじめ、11団体が出演しました。本市の伝統芸能が一堂に会するとあって、市内外からの来場者数も1,000人を超え、大いに賑わいました。

太鼓や仕舞、日本舞踊を学び、本市の伝統芸能を保存・継承しようと頑張っている子どもたちも6団体が出演し、舞台に華を添えてくれました。

同時開催した「玉津プラチナ市」では、玉津商店街等による「プラチナマーケット」、「びっくり市」や空き店舗での人形、スタンドグラス、水彩画の展示会等が実施されました。

この伝統芸能フェスティバルを通じて、千年のロマン香る本市の伝統芸能の素晴らしさ、その魅力を全国に発信することができました。

●出演団体

〈光圓寺会場〉

豊後みさき太鼓
河内中学校 西叡太鼓「喝」
西叡太鼓 大和

〈特設ステージ（夢むすび奥）〉

高田ヤンソ 高田高校「桜組」
子ども仕舞教室
子ども日本舞踊教室
三喜流みどり会
花柳流桜美鶴会
高田ヤンソ 花柳流いづみ会
夷里神楽保存会
草地踊り保存会

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 豊後高田市 豊後高田市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭豊後高田市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭豊後高田市実行委員会

生活芸術の祭典

開催日：平成30年10月6日(土)～11月25日(日)

開催場所：杵築市内各文化施設、杵築市文化体育館



●実施状況

県内・中央の8団体による伝統文化の展示、交流、発表を城下町の伝統的建造物を使って開催しました。

茶道では表千家、裏千家、江戸千家各支部の参加があり、お茶席を開催しました。特に杵築市に受け継がれている江戸千家は国民文化祭開会期間の土日祝にお茶席とお盆点の体験を大原邸で開催し、老若男女、障がい者の方も体験を楽しみました。

盆栽展では、大分県内3支部から内閣総理大臣賞受賞樹や世界盆栽展出品樹などの約100作品を展示しました。多くの皆様に鑑賞していただき、また作品を通して会員との交流も深まった展示となりました。

いけばなでは、中央から日本いけばな芸術協会、日本華道連盟各流派が集い、磯矢邸、一松邸の全体を使って展示しました。

また、杵築市に古くから受け継がれている豊後宏道流は、国民文化祭の期間中、文化施設の玄関などを彩り、多くの皆様に杵築に残る華道文化に関心を寄せていただきました。

香道では、二大流派の家元、宗家にお越しいただき、「お香の祭典」を開催しました。お香の話や文香づくり体験、香道具の展示を行い、来場者に香りの文化と歴史を学んでいただくことができました。

●プログラム

《茶道》

- ・(一社)裏千家大分支部淡交会 10月7日(日) 会場：一松邸 茶席
- ・江戸千家大分支部 10月6日(土)～11月25日(日)(期間の土・日・祝) 会場：大原邸 茶席と盆点の体験(車椅子可)
- ・(一社)表千家大分支部同門会 10月24日(水)～30日(火) 会場：一松邸 茶席と盆点の体験

《盆栽》

- ・(一社)日本盆栽協会大分支部 10月19日(金)～21日(日) 会場：杵築市文化体育館 盆栽展示40席、盆栽講習会

《いけばな》

- ・(公財)日本いけばな芸術協会 10月27日(土)・28日(日) 会場：磯矢邸 各流派の作品展示、パネルによる華道の歴史の説明
- ・(一社)日本華道連盟 11月17日(土)・18日(日) 会場：一松邸 各流派の作品展示、ライブパフォーマンス
- ・豊後宏道流 10月6日(土)～11月25日(日) 会場：大原邸、佐野家、磯矢邸、能見邸、中根邸、きつき城下町資料館、一松邸 各文化施設の玄関、床の間などに作品を期間中展示

《香道》

- ・(公財)お香の会
- ・志野流 11月3日(土・祝)
- ・御家流 11月4日(日) 会場：一松邸 お香席、お香のお話、文香作り体験

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 杵築市 杵築市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭杵築市実行委員会(生活芸術の祭典事業部会)

98

天下御免の「どぶろく祭り」

開催日：平成30年10月17日(水)・18日(木)

開催場所：白鬚田原神社



出会いの場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

●実施状況

杵築市大田の白鬚田原神社で開催される「どぶろく祭り」は、神社創建以来、秋の大祭に氏子のご神前にどぶろくを供え、ご神徳を敬い、五穀豊穰、無病息災を祈るために始められたと伝えられています。また、全国でも数か所しか醸造を許されていないどぶろくを参拝者に振舞う、非常に珍しいお祭りでもあります。

どぶろく祭りイベント実行委員会では、お祭りが行われる白鬚田原(しらひげたわら)神社の“鬚”にちなんだ「鬚自慢コンクール」や、地域で活動している陣太鼓OTAの演奏、俣水神楽といったステージイベントを行いました。

また国民文化祭行事として、県内外からの参拝者に地域の文化にふれてもらうため、大田地域の有形・無形文化財や、境内では普段見ることが出来ない、どぶろくの仕込みから大祭までを撮影した写真展を開催しました。

あわせて、江戸千家大支部杵築不白会による呈茶席を開催し、「おおいた大茶会」のPRを行いました。両日とも天候に恵まれ、多くの参拝者が訪れていました。

●プログラム

10月17日(水)

場所 白鬚田原神社神楽殿

10:30~11:00 陣太鼓OTA演奏

11:00~13:00 第26回鬚自慢コンクール

13:00~14:00 俣水神楽

場所 白鬚田原神社境内

10:00~14:00 呈茶席

10月17日(水)・18日(木)

場所 白鬚田原神社拝殿

9:00~17:00 どぶろくの振る舞い

場所 白鬚田原神社境内、神社下芝生公園

9:00~17:00 大田地域有形・無形文化財写真展

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 杵築市 杵築市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭杵築市実行委員会 (どぶろく祭りイベント実行委員会)

99

きつき障がい者芸術文化展

開催日：平成30年10月31日(水)～11月5日(月)

開催場所：杵築市立図書館



●実施状況

「ひとり一人の花を咲かせよう」をテーマに、市内外の障がいのある方がさまざまな想いで制作した「作品」と、そこにある「心の風景」を観ていただく、「きつき障がい者芸術文化展」を開催しました。

この展覧会では、障がいのある方には個々の楽しみ、趣味、創造性をふくらませること、社会参加を促すことを、また観覧に訪れた方々には、障がい者への理解と認識を深めていただくことを目指しました。

あわせて会場の杵築市立図書館では、「障がいについて考える」として特集コーナーを開設しました。

●プログラム

- 1 作品展示：10月31日(水)～11月5日(月)
 - ・絵画40、工芸8、写真3、書4、文芸4、合作9の計68点を公募にて展示
 - ・日出支援学校の児童生徒の作品と制作過程を展示（絵画67、立体60の計127点）
 - ・特別展示～山香町の芸術家 木村 秀和氏制作の杵築・山香・大田の昔話をモチーフにした作

品6点を展示

2 関連イベント

- ・絵手紙ワークショップ：11月1日(木)、3日(土・祝) 14:00～17:00
日本絵手紙協会公認講師の原野 彰子氏を講師として開催（参加無料）
- ・自閉症者施設のドキュメンタリー映画上映会&トークセッション：11月2日(金) 14:00～16:00
山香町出身の美術家 二宮 圭一氏が制作した「日常～めぶき園を訪ねて」を上映
二宮氏本人が語りながら、めぶき園の日常を紹介、上映後客席とのトーク
- ・杵築市の昔ばなし読み語り
11月4日(日) 午前の部11:00～11:30、午後の部14:00～14:30
読み聞かせボランティア上田 美智子氏による杵築の昔話の読み語り
特別展示作者の木村 秀和氏とのコラボレーション（絵、竹楽器等）

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 杵築市 杵築市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭杵築市実行委員会（きつき障がい者芸術文化展事業部会）

100

きものの祭典

開催日：平成30年11月4日(日)、17日(土)・18日(日)

開催場所：酢屋の坂下広場、中根邸



©1976, 2019 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. SP591206

●実施状況

全国初の「きものが似合う歴史的町並み」に認定された杵築城下町で、「和」をテーマにした「きものの祭典」を実施しました。

「城下町きつきポップカルチャーイベント」では、人気キャラクターの「ハローキティ」や地元ポップカルチャーグループによるパフォーマンスで盛り上がりました。同時に開催された「ちびっこコスプレ体験」では、ちびっこが好きなコスプレ衣裳を楽しんでいました。また「コスプレ撮影会」では、城下町一帯に「和」をテーマとしたコスプレイヤーが多数参加しました。

「きもの展示・体験ワークショップ」は「中根邸」を会場として行われました。きもの原点とされる王朝装束や創作帯結び、王朝継ぎ紙などの展示や花結びや王朝継ぎ紙を使ったグリーティングカード作りなどのワークショップを開催し、連日好評でした。

「きものステージイベント」では、冒頭、「Kit-sukiきものPR大使」の佐藤実絵子氏のステージが行われ、第一部では「きものファッションショー」と題し、TPOに合わせた現代きものが披露されました。第二部では、王朝装束「十二単」の世界として、解説を交えながらの十二単の着装実演や宮廷装束を纏ったモデルが登場し、会場は雅な雰囲気になりました。

いずれの催しにも多くの方に来場いただき、「きも

の文化」の伝統的な部分や現代的な部分など「奥深さ」と「きもの町きつき」を伝える良い機会になりました。

●プログラム

11月4日(日) 城下町きつきポップカルチャーイベント
ステージイベント（ハローキティミニステージ
地元ポップカルチャーグループ）
ちびっこなりきりコスプレ体験・城下町コスプレ撮影会

11月17日(土)・18日(日) きもの展示・体験ワークショップ
展示：日本の伝統の美「十二単と直衣」、王朝継ぎ紙の世界
体験：和のストラップ作り、王朝継ぎ紙（グリーティングカード）作り

11月18日(日) きものステージイベント
プロローグ Kit-sukiきものPR大使
佐藤 実絵子ステージ
第一部 きものファッションショー
第二部 王朝装束「十二単」の世界

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 杵築市 杵築市教育委員会
第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会
第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭杵築市実行委員会（一般社団法人杵築市観光協会 一般財団法人民族衣裳文化普及協会）

101

山香ふるさとまつり

開催日：平成30年11月9日(金)～11日(日)

開催場所：杵築市役所山香庁舎・庁舎前広場



●実施状況

杵築市山香町で毎年開催されている「山香ふるさとまつり」を、文化祭にあわせ内容を拡充して実施しました。

11月9日から3日間にわたり開催した「杵築市山香町総合文化祭」では、県内大学の留学生によるダンスなど国際交流とともに、文化祭の地域テーマ「祈りの谷」をモチーフとした作品展示と芸能発表を実施しました。あわせて呈茶席（茶道）のおもてなしを行い、車いすの方にもお茶席の雰囲気を楽しんでいただきました。

10日の「山香ふるさとウォーク」では、世界農業遺産にも指定されている山香の稲刈り後の田園風景や町内の史跡、またクヌギ林、椎茸栽培のほだ場、ため池等を巡りました。参加者は農林水産の循環型システムの必要性を体感しながら、美しい景観を楽しみました。

10日・11日のふるさとまつり本イベントでは、途絶えていた大分県指定無形民俗文化財「立石楽」が、小・中・高生の有志により復活。この日初披露となり、大いに盛り上がりました。

また杵築市立図書館で開催した「きつき障がい者芸術文化展」の作品の一部を、山香庁舎のスロープや螺旋階段のスペースを生かして再展示しました。図書館での展示を見ることのできなかった方にも障がいのある方の活動を見ていただき、理解

を深めてもらう機会となりました。

●プログラム

11月9日(金)～11日(日) 杵築市山香町総合文化祭
山香庁舎内外において子どもからお年寄りまで参加した作品展示と芸能発表

11月10日(土) 山香ふるさとウォーク
中学生のガイドを聞きながら、山香町の史跡やクヌギ林、椎茸のほだ場、ため池等8.6kmのコースを巡るウォーキング大会

11月10日(土)・11日(日) 山香ふるさとまつり、きつき障がい者芸術文化展（山香会場）

- ・山香庁舎前広場にてステージイベント、ふるさとの味レストラン
- ・山香庁舎内で障がい者作品と山香町の芸術家木村 秀和氏による市内の昔話をモチーフにした作品展示

●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 杵築市 杵築市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭杵築市実行委員会（山香ふるさとまつり事業部会）